

日本臨床動作学会 第 30 回学術大会

(Web 開催)

第 2 号通信

大会テーマ ニューノーマル時代の臨床動作法を探る

2020 年が始まった直後から新型コロナウイルス感染症のニュースが入ってきて、日本中がその対策に力を注いできました。そうした状況下で、臨床動作法も新たな対応を迫られ、触れない動作法を基にした現場での実践上の工夫やオンライン動作法の開発に取り組み、動作法の新たな要素を生み出すにいたりました。

このコロナ禍の 2 年間半を経て、ウィズコロナ・アフターコロナのありようを模索している今、「ニューノーマル」という考え方にスポットが当たっています。ニューノーマルとは、「新しい常態」あるいは「新しい日常」という意だそうです。そこには、大きな災害や事故の後に、もう元には戻れないという変化が起こり、その変化のもとでの新しい常識や生活様式を指すそうです。確かに、今、人との接触の仕方において物理的距離を取るのは普通となっており、感染対策として始まったリモートワークやリモート会議、オンラインカウンセリングも、新しい働き方、活動形態として受け入れられてきています。

臨床動作法も医療や福祉、教育、産業等のいわゆる現場での実施において、感染予防に向けての留意の仕方と新たな技法の開発に力を注いできました。その結果として生み出された方法は、予防のための一時的措置に留まらず、アフターコロナになっても有用な援助法として十分に活かされるものとなってきています。開発されたオンライン動作法の新たな要素は、今の対面での動作法に良い変化をもたらしつつあります。

第 30 回学術大会および第 41 回学会主催研修会では、コロナ禍を経験したからこそ生まれてきた、臨床動作法の考え方や技法上での新しい変化を検討し、明らかにして、それらをさらに発展させる機会となることを目指します。一方で、新しい変化の基盤にあるところの、臨床動作法 60 年に及ぶ実践と研究のなかで確立された核の部分、再確認する機会ともしたいと思います。

会員の皆様も、この 2 年間半のご経験を基に、ニューノーマル時代の臨床動作法に向けて大いに議論していただきたいと存じます。学術大会は Web 大会といたしましたので、研究発表、講演、シンポジウム、ラウンドテーブル、教育研修、交流会等を数多く企画いたしました。また、研修会は、待望の対面で行う予定です。対面研修ができるようなコロナ状況になっていることを祈るばかりです。

会員の皆様のご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本臨床動作学会第 30 回学術大会
実行委員会 実行委員長 鶴 光代

I 会期 2023年1月21日(土)～1月29日(日)

オンデマンド配信期間：1月21日(土)～29日(日)

ライブ配信期間：1月28日(土)～29日(日)

II 会場 Web会場

III 大会プログラム(予定)

オンデマンド配信 2023年1月21日(土)～1月29日(日)

◎ 講演

招待講演

高齢者福祉の立場より 地域ケアと公認心理師

演者：加藤 伸司(東北福祉大学・認知症介護研究研修仙台センター)

認知行動療法アプローチより 個別面接における心理教育

演者：牧田 潔(愛知学院大学)

講演

臨床動作法の原点 動作訓練

演者：香野 毅(静岡大学)

◎ ラウンドテーブル

臨床動作法による臨床経験から得たこと そしてこれからの展望

企画・司会者：倉田 知子(本郷メンタルサポートさぷる)

演者：五十嵐 徹(自衛隊横須賀病院)

清水 良三(明治学院大学)

中島 健一(愛知学院大学)

指定討論者：針塚 進(九州大学名誉教授)

成瀬悟策先生から学んだ動作研究の仕方

企画者：土居 隆子(おふいす とい)

司会者：藤吉 晴美(九州産業大学)

演者：緒方 二郎(東京福祉大学)

横尾 摂子(緒方良神経科クリニック)

武内 智弥(淑徳大学)

◎ 国際交流・報告

臨床動作法のユニバーサリティ — カンボジアでのこれまでとこれから —

企画者：宮脇 宏司（ふおりせ心理ストレス相談室）
大石 敏朗（心理教育相談室 そふいあ・らぼ）

◎ 臨床教育支援セミナー

事例研究の基本と臨床動作法

演 者：井村 修（奈良大学）

研究デザインの基本と臨床動作法

演 者：藤野 陽生（大阪大学）

ライブ配信 2023年1月28日（土）～1月29日（日）

◎ 講演

基調講演：臨床動作法におけるニューノーマル — オンライン動作法実践からの新しい展開 —

演 者：鶴 光代（本学会理事長・東京福祉大学）

1月29日（日） 9:30 - 11:30

講演：来所系現場の特徴 — 臨床動作法導入・実施の利点と難しさ —

演 者：倉田 知子（本郷メンタルサポートさびる）

1月28日（土） 15:45 - 16:45

講演：入院・入所系現場の特徴 — 臨床動作法導入・実施の利点と難しさ —

演 者：川瀬 里加子（新所沢清和病院）

1月28日（土） 16:45 - 17:45

◎ シンポジウム

社会に向かうことを支えるために：被虐待者の青年期支援

企画者：宮脇 宏司（ふおりせ心理ストレス相談室）

司会者：畠中 雄平（琉球大学）

話題提供者：高島 由樹（さざなみ学園）

原田 真之介（医療創生大学）

指定討論者：吉永 弥生（静岡県教育委員会）

宮脇 宏司（ふおりせ心理ストレス相談室）

1月28日（土） 9:30 - 11:30

◎ ラウンドテーブル

心理療法としての動作療法はどのように生まれたか？ 動作訓練からの展開

企画・司会者：土居 隆子（おふいす とい）

演 者：田中 新正（大分大学）

針塚 進（九州大学名誉教授）

鶴 光代（東京福祉大学）

1月29日（日） 15:30 - 17:30

◎ 研究発表

理論・調査・実験研究（Web 会場での発表と質疑応答）

1月28日（土） 12:30 - 15:30

1月29日（日） 13:45 - 15:15

事例研究（誌上発表とチャットによる質疑応答）

1月28日（土） 9:30 ~ 1月29日（日） 21:00

◎ 交流会

1月29日（日） 11:45 - 12:45

◎ 総会

1月29日（日） 18:00 - 18:30

IV 学術大会の参加について

1. 参加資格（１）～（３）の総てを満たす必要があります。

- （１）本会員のほか保健・医療，教育，福祉，司法・犯罪，産業等の領域において専門家として携わっている方，またはその教育課程に所属する大学院生。参加者には守秘義務が伴います。
- （２）学術大会参加にあたって，他者の出入りのない場所（部屋）で，かつ，安定した通信環境のもと，守秘義務を守ることができるパソコンを自身で操作でき，オンライン会議システム等を用いることが可能な方。
- （３）参加申込み期間までに，参加申込みの手続きを完了した方。

2. 参加申込み期間

第一次参加申込み期間	2022年9月1日（木）～9月30日（金）20:00
第二次参加申込み期間	2022年10月1日（土）～12月10日（土）20:00

3. 参加申込み方法

いずれかの方法でお申込みください（できるだけ①参加申込みフォームをご利用ください）。

- ① 学会ホームページより大会ホームページを開き，参加申込みフォームを利用
- ② 大会ホームページより，参加申込書（Word）をダウンロードし必要事項を記入の上，メール添付にて大会事務局まで送信
(dohsa2022@outlook.jp)
- ③ 同封の参加申込書に記入し，大会事務局（所在地は7ページに記載）に郵送



参加申込みフォームの
QRコード

V 研究発表について

1. 発表資格

大会での発表者は（連名発表者を含む）は，発表申込時および大会開催時点で日本臨床動作学会会員もしくは学生会員でなければなりません。

発表をお考えの非会員の方は，入会届を学会事務局（dohsahoujim@gmail.com）へご提出ください（2022年9月15日（木）必着）。入会の申請については日本臨床動作学会のホームページの＜学会の案内・組織＞から＜入会・各種届等＞（<https://www.dohsa.jp/nyukaiannai>）をご覧ください。その後に学会事務局からの案内に従い，入会の手続きを完了した上で，学術大会参加の手続きを完了させると共に研究発表の申し込みを行ってください。

なお，大会参加費と2022年度までの年会費を期日までに納める必要があります。年会費については，学会事務局（dohsahoujim@gmail.com）までご連絡ください。

2. 発表申し込み期間

2022年9月1日（木）～9月30日（金）20:00【必着】

3. 発表申込み方法

いずれかの方法でお申込みください（できるだけ①の研究発表申込みフォームをご利用ください）。

- ① 大会ホームページの研究発表申込みフォーム
- ② 大会ホームページより、参加申込書（Word）をダウンロードし、必要事項を記入の上、メール添付にて大会事務局まで送信
(dohsa2022@outlook.jp)
- ③ 同封の研究発表申込書に記入し、大会事務局（所在地は7ページに記載）に郵送



研究発表申込み
フォームの QR コード

4. 発表形式

A) 理論・調査・実験研究 : Web 会場での発表と質疑応答

- (1) 臨床動作法に関する理論および調査、実験、実証に基づく研究の発表です。
- (2) 発表申込者は、①発表論文集掲載用の原稿（A4・2 ページ）と、②Power Point を使用した 15 分の発表動画の両方を作成し、大会事務局に提出してください。

①発表論文集掲載用の原稿（A4・2 ページ）

提出期限：2022年11月 1日（火）20:00 必着

②Power Point を使用した 15 分の発表動画

提出期限：2022年12月20日（火）20:00 必着

- (3) 学術大会当日は提出された発表動画を、大会事務局が参加者へ配信します。その後、司会の進行のもと質疑応答をライブで行います。質疑応答の時間は 15 分を予定しています。

B) 事例研究 : 誌上発表とチャットによる質疑応答

- (1) 臨床動作法に関する事例の研究発表です。事例対象者の事前承諾を前提とします。
- (2) 発表申込者は、①発表論文集掲載用の原稿（A4・2 ページ）と、②Power Point を使用し、タイトルスライド（個人情報保護されたもの）1 枚を作成し、大会事務局に提出してください。
提出期限：2022年11月1日（火）20:00 必着
- (3) 大会実行委員会が、学術大会のサイトに、質問をチャット形式で受け付けられるようセッティングします（Slack という Web 上のツールを用いる予定です）。発表者は、質問に対して同期・非同期にて、できる限り回答してください。
- (4) 質疑応答は、2023年1月29日（日）21:00 までとします。この期間中、質疑応答管理担当者が必要に応じてサポートする場合があります。

5. 発表論文のチェックと発表の受理について

発表申込者より提出された発表論文は、臨床動作学の研究として、問題と目的・方法・結果・考察等の必要な記載がされているか、研究の実施や発表論文の執筆において研究倫理が遵守されているかといった点について、実行委員会にて原稿チェックをさせていただきます。必要に応じて原稿の修正をお願いすることがあります。速やかなご対応をお願いします。**完成原稿の受理をもって発表の決定とします。**

修正依頼と修正期間：2022年11月2日（水）～11月25日（金）

VI 学会参加費

申込期間	会員		学生会員		非会員（一般）		非会員（大学院生）	
	第1次 9/1～9/30	第2次 10/1～12/10	第1次 9/1～9/30	第2次 10/1～12/10	第1次 9/1～9/30	第2次 10/1～12/10	第1次 9/1～9/30	第2次 10/1～12/10
大会参加費	5,000円	6,000円	4,000円	5,000円	6,000円	7,000円	5,000円	6,000円

<学会参加費振込先>

- 三菱UFJ銀行 普通 青山支店（店番号：608） 口座番号：0111991
- 氏名：日本臨床動作学会事務局（ニホンリンショウドウサガツカイジムキョク）

※学会の年度会費の振込先ではありません。会費の振込先は、
<https://www.dohsa.jp/nyukaiannai> の入会申込記入要項よりご確認ください。

VII 大会事務局連絡先

日本臨床動作学会 第30回学術大会事務局
〒174-0063 東京都板橋区前野町2-29-3
淑徳大学 武内智弥研究室
大会事務局長 武内智弥
E-mail: dohsa2022@outlook.jp

※ 動画配信やオンライン会議システムの通知、問い合わせなどの大会事務局からの連絡は、
dohsa2022@outlook.jp より行います。このE-mailアドレスからのメールを受け取ることができるように
しておいてください。特にGmailをお使いになっている場合には、Bccで送られたメールが迷惑メール
フォルダに振り分けられてしまうことがあります。

迷惑メールフォルダを確認するか、迷惑メールに振り分けられないように設定していただけますと幸
いですが（Gmailの場合は、大会のメールアドレスを連絡先に追加していただくと、Outlookの場合は、セ
ーフリストに追加していただくと、迷惑メールの扱いにならなくなります）。

全体に関わる連絡事項がある場合には、大会ホームページにも情報を掲載します。